

アイランダー離島学会機関誌

第2号



オンラインアイランダー
離島学会



わくわくするオンラインイベントを

発行：オンラインアイランダー離島学会

令和3年11月

＜目次＞

I. 子どもたちへの新たな体験

高校生と大学生のオンライン交流 1 頁

II. 島の暮らしをエンジョイする人々（鹿児島県長島町編）

島の山を身近にしたい 9 頁

（島の鳥獣被害対策に取り組む若者）

III. 挑戦！離島検定 13 頁

I. 子どもたちへの新たな体験

高校生（上島町弓削高校）と大学生（三重大学）をオンラインでつなぐ交流の機会を設けました。地理的距離を超えた高校生と大学生の、わくわくドキドキ交流の様子をお伝えいたします！

○ 最初は大学生→高校生の順で自己紹介！

（大学生の自己紹介）三重大学人文学部法律経済学科4年生 計3人

（高校生の自己紹介）愛媛県弓削高校 1年生3人・2年生2人 計5人

○ 大学生から大学生活について説明！

- ・高校と大学の違いについて
- ・大学生の一日について
- ・大学を選んだ理由

○ フリートークタイムに突入！（赤裸々トークにご注目！）

①（高校生から大学生へ）受験勉強を本格的に始めた時期について教えてください！また部活もやっていたか？

Aさん	高校3年生の初め位から開始。本格的に取り組み出したのは高校3年生の6月～8月頃。受験勉強を開始してからは、塾にこもって一日8時間くらい勉強・学校では放課後に残ってみんなと勉強していた。部活は6月頃までテニス部に在籍。以降は受験勉強に集中した。
Bさん	高校時代は弓道部に所属しており、大会が7月頭くらいまでであったため、7月以降に受験勉強を開始した。
Cさん	部活には所属していなかった。少し特殊な高校で、あまり勉強らしい勉強をしない学校だった為早めに取り組みもうと思い、2年生の夏休みから受験勉強を開始。 ただし塾等には行かず、学校から帰ってきて自宅で2時間くらい勉強、といったスタイル。

②（高校生から大学生へ）高校時代に取得した資格等あれば教えてください。

Aさん	高校生の頃に英検を取得した。
Bさん	英検2級を取得した。私立大学の試験等で「英検・・・級以上の人は試験免除」等の条件を設ける大学もあるため、選んだ大学によっては有利になるかもしれない。
Cさん	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学に出願する時は、英検資格が出願条件になる学部もある為有用。事前に確認し、資格を必要とする大学であれば取得しておいた方が良い。 ・資格とは別に重要な事として、特に推薦入試では「オープンキャンパスに行くこと」を推奨したい。理由として、試験にあたり自己推薦書を作成する。「自分が高校時代に頑張ってきたこと」や「大学でやりたいこと」を1,000文字程度で作成せねばならず、高校1年・2年生の早いうちからオープンキャンパスへ参加し情報を収集しておくことをお勧めしたい。

③（高校生から大学生へ）一般入試か、総合推薦か、学校推薦か、どのタイミングで決めましたか？

Aさん	在籍していた高校は先生が推薦入試にあまり積極的でなかったため、一般入試を受験するのがほとんど。
Bさん	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある分野・行きたい学部を決める時期が遅く、早い時期に行きたい大学を決めて準備を進めないといけない推薦入試を選ばず、選択肢が広い一般入試を選んだ。 ・一般入試の方が最後まで選択肢を残せる余地はあると思う。
Cさん	高校3年生の最初の頃から第一志望を三重大学に絞り、一般入試の準備を進めていたが、夏過ぎに先生から推薦入試を勧められ、受験した。

④（高校生から大学生Cさんへ）進学を希望する人が少ない高校から大学に進学されたそうですが、どのように勉強に取り組みましたか？

Cさん	<p>体感としては「あまり変わらなかった」というのが正直な感想。家でしっかり勉強出来る習慣さえつけられれば、あまり差はない。</p> <p>「行きたい大学」と、「勉強しなければならないこと」をあらかじめ調べておけば、学力を受験本番までに引き上げることは十分可能。</p>
-----	---

④－２（Cさんの回答に対して上島町側スタッフから）周りの人たちの多くが進学を希望していたAさん達に対して、Cさんは、就職する同級生も相当数居る中で、どのように勉強のモチベーションを保っていましたか？弓削高校も就職する学生がそれなりに居て、早い時期に就職が決まると勉強のモチベーションを保つのが難しいです。

Cさん	<p>性格として他の人と違うことをやることに価値を感じていたところがあり、それほどモチベーション維持には苦労しなかった。</p> <p>また、大学で身につける力として「自分で学ぶ力を身につけること」や、「物事を調べる力を身につけること」があると思う。このような力を持っているか否かで社会で活躍できる機会は変わってくると思うので、機会があるならば大学に進学し、社会で幅広く活躍できる能力を身につけた方がよいと思う。</p>
-----	--

⑤（高校生から大学生へ）大学入試について、皆さんは苦手科目の対策は受験前にはどのようにしていましたか。

Aさん	<p>社会・理科が苦手で、初めは「まとめノート」などを作っていた。一番効果があったのは過去問を解くこと。センター試験であればセンター過去問に取り組む、大学入試問題の過去問であれば「赤本」「青本」等の過去問テキストに過去10年分くらい取り組む。</p>
Bさん	<p>文系志望に移行した後、倫理・政治経済については一から自分で勉強することに。過去問を解いて間違った問題をノートにまとめて暗記することで、センター試験の前頃には正答率9割迄になった。分からない</p>

	所・間違えたところを少しずつ減らしていく形がよい。
Cさん	数学がすごく苦手だった。塾の先生によく言われたのは「公式を自分で導けるようにする」こと。それが出来るようになると「基礎的な力がついた」と自分でも実感できるようになり、公式を忘れた時も自分ですぐ思い出せるため、復習のしやすさとしても良かった。 また基礎を固めるために、問題集を繰り返し取り組むのも必要。

⑤ - 2 (大学生Aさんの回答に対して高校生から) 過去問を解き始めたのはいつくらいの時期からですか？

Aさん	あまり覚えていないが、大学の2次試験の問題は高校3年生の夏休み終わり位、センター試験の問題は高校2年生の初め頃から取り組んだ。
-----	---

⑥ (大学生から高校生へ) 愛媛県弓削高校の皆さんが大学に進学する場合は、自宅から通われる方と、下宿される方とどちらの割合が高いですか。

高校生	下宿や一人暮らしをする人が多いと思う。
-----	---------------------

⑥ - 2 (高校生の回答を受けて大学生から) それでは弓削高校の皆さんは大学進学の際に初めて一人暮らしや下宿生活を始める人が多いのですね。大学に進学して一人暮らしを始めて、「こんなことが大変だった」、また逆に「こんなことが楽しかった」、という点について、大学生からどなたか意見ををお願いします。

Bさん	大変だったことは「ご飯を作ること」。一人暮らしを始める前は全く料理をしたことがなく、料理をまる焦げにする等失敗もあった。一方で栄養バランスや健康管理も考えないと、体調を崩しても看病してくれる人がいない。 それでも私は一人暮らしをしてよかったと思う。社会に出て働くと同時に一人暮らしがスタートしたら大変だと思うので、「大学生のうちに慣れておいて良かった」という点と、自由な時間がすごく多い点はメリットだと思う。お風呂にいつ入っても文句を言われたいし何時に寝ても怒られない。
-----	--

⑦（上島町スタッフから大学生へ）最後に三重大学の皆様をお願いします。これから進学を検討する高校生へのメッセージとして、「大学に通って一番良かったこと」、これから就職されていくなかで、社会に出てどんな風に仕事を通じて社会に貢献していきたいか、これからの抱負をそれぞれ一言ずつお願いします。

Cさん	<p>大学に行って一番良かったことは、友達がたくさんできたこと。大学に行くと医師や看護師、先生、学者など自分が考えている人々と全く違うタイプの人々と仲良くなれる。全く違う考え方・タイプの人々と出会い友達になることで、新しい自分の興味や、今までの自分と違う一面に気付けることが大学に行って良かった事だと思う。</p> <p>社会に出る上での抱負は、たくさんの友人・知人との繋がり、経験を生かし、コミュニケーションを取っていきながら社会で活躍していきたい。</p>
Aさん	<p>大学に行って一番良かったことは、自分が好きな分野をとことん学べること。また、サークル活動等自由な時間があり、高校より気楽な感じで仲間とわいわい出来るということもある。</p> <p>社会に出る上での抱負は、都市部に人口や仕事が出ている中で、さらに地元地域の活性化に貢献できるような人材になっていきたい。</p>
Bさん	<p>大学に行って一番良かったことは、将来について考える機会が本当に多かったこと。</p> <p>想像よりも大学生は案外暇があるので、様々な授業を受講することで自分がどのような形では働きたいか、どのような分野に興味があるのか改めて考え直せる。</p> <p>海外に興味があったため留学にも興味があったが、大学には留学をサポートしてくれる制度もあるため、社会人になってから海外に行くよりもかなり費用も抑えられるのでおすすめしたい。</p> <p>社会に出る上での抱負は、海外でたくさん活躍できるような人になりたい。</p>

ここでお時間となり、交流は終了！皆さんお疲れ様でした！



交流を行う弓削高校の皆さん

○参加してくれた高校生・大学生のコメント・感想を掲載いたします！

【弓削高校】

- ・多様な進路選択のとれる高校から、国公立大学を志したCさんのお話を聞いて、共感とともに勇気を貰いました。
- ・苦手科目の克服方法について具体的に教えていただいたことが参考になりました。また、高校と大学の違いが印象に残りました。
- ・お三方それぞれの話を聞いて、改めて大学に進学する意欲が高まりました。積極的にオープンキャンパスに行こうと思いました。
- ・資格検定の話や入試方式など、より具体的な話を聞くことができ参考になりました。
- ・大学は自分の想像よりも、もっと楽しく自分の好きなように過ごせることが大きな気づきでした。

【三重大学】

「弓削高校の皆様との交流を終えて」

11月20日オンラインにて、弓削高校1年生3人、2年生2人と、三重大学生3人で交流を行った。目的は、離島の高校生に向けて「大学」を知ってもらうことだ。

内容は、主に高校と大学の違い、進路選択についてであり、スライドを用いて説明させていただいた。具体的には、前者では、大学生の1日、授業の取り方、サークルやバイト等についてである。後者では、大学進学を決めた時期、興味のある学問が決まった時期、三重大学を選んだ理由等についてお話しさせていただいた。

質疑応答は、大学生活よりも受験に関するものが多かった。具体的には、受験方法（一般入試・推薦入試・総合入試）や、受験勉強、高校生のうち取るべき資格等である。弓削高校では、生徒の約半数は就職組であり、受験方法は年度により異なるそうである。そのため、いわゆる進学高ではない高校からの大学進学や、その中での勉強のモチベーションの保ち方、上記受験方法それぞれのメリット、デメリット等に関心を持っておられた。

交流を終えた感想として、今回の交流の目的は、高校生の方々に大学を知ってもらう事であったが、実際話してみると高校生は、特に受験対策に強い関心を持っているように感じた。私たちは4年生として、就活を踏まえた上で大学生活を改めて振り返った意見を話す事が出来たが、受験の事を話すには、受験を終えたばかりの大学1年生の方が適任であると感じた。

最後になりますが、貴重な交流の機会を設けていただいた、国土交通省の皆様、打ち合わせでは内容を一緒に考えてくださった、愛媛県上島町の方々に、感謝申し上げます。

○オンラインアイランダー離島学会による総括

子どもたちへの新たな体験の提供として、離島の高校生と本土の大学生をオンラインで繋ぐ交流を実施した。調整から開催まで期間が短く、初対面での交流であったものの、懸念されていたほどの緊張感もなく、終始なごやかに交流が行われた。

高校生の皆さんはやはり身近な話題としての受験や勉強内容に興味を向いていたようだ。受験に関する知識・経験についても糧としてもらいたいのは勿論だが、大学生という人生の先輩からの話を踏まえ、受験の先に何があるのか、大学進学から卒業後の就職、社会での活躍等、先を見据えた視点として考えていきかけとして欲しい。

一方で大学生の皆さんには「離島で暮らす高校生との交流」という今回の機会を、今後の社会での活躍において是非活かして貰いたい。今回高校生の皆さんにとって糧となったのは、決して大学受験の体験・勉強だけではない。人生の先輩としての皆さんの大学生生活の体験談そのものこそが、高校生にとって得がたい宝となったのではないかと思う。また、今回の企画を通して、大学生の皆さんが離島をより身近に感じ、今回交流を深めた上島町について興味を持ち、上島町のファンになってもらえれば幸いである。

今回試行的な取り組みとしてオンライン交流の機会を高校生・大学生に提供した。子どもたちへの新たな体験の提供の一助となれば大変嬉しく思う。

Ⅱ. 島の暮らしをエンジョイする人々（鹿児島県長島町編）

島に移住して、島の暮らしをエンジョイする達人を紹介するコーナー。第2号では鹿児島県長島町編。

○ 島の山を身近にしたい

大阪府から長島町に移住し、移住後に自身も狩猟免許を取得し鳥獣被害対策に取り組む長谷川一総さんにインタビューをしてみました！九州の島での暮らしとはどのようなものなのでしょうか？少し覗いてみましょう。

Q.よろしくお願ひします。はじめに、現在長島町ではどのような生活をされていますか。

私が地域おこし協力隊として大阪府から鹿児島県の長島町に初めて来たのは、2020年の8月でした。協力隊の活動内容としては鳥獣被害対策ですが、現在は主にイノシシの被害対策をしています。協力隊に着任後に狩猟免許をとり捕獲に従事し、被害を受けた田畑を視察させてもらうなど現場に出ることで、効果的な対策を考えています。どうやら鹿児島県本土ではシカの被害が多いのに比べ、長島ではイノシシの被害が一番大きいようです。

そもそも長島では、鹿児島本土で普通にみられるシカがほとんど生息していません。他にアナグマもほとんどいないなど、鹿児島本土とは異なる動物相です。私にとっては、このような少し特殊な環境がすでに興味深いところですが、猟友会や農政課、時には研究者に相談したりしながら、長島に合った対策を試行錯誤していくところにやりがいがあります。まだ大きなことを成し遂げたわけでもなく、私自身未熟であり、ハコ罠やくくり罠などの経験もなかったので一つ一つ学んでいるところです。免許を取得してから、数頭は捕獲することができましたが、最初は捕獲したイノシシを自分で止めをさすことも難しかったです。今は少しずつ慣れて、自分一人でも捌けるように勉強をしています。私は罠の狩猟免許の他にも、銃の狩猟免許も取得しました。今後猟銃と空気銃を所持する予定で、捕獲に使えるよう、勉強もしていきたいと思います。



イノシシ狩猟後の長谷川さん



猟銃講習の様子

Q.ありがとうございます。多くの離島地域でも鳥獣被害は深刻な問題となっていますね。そもそもどうして長島町で移住して暮らすようになったのですか？

そもそも、私が協力隊になったきっかけは、家族の何気ない一言で、それをなんとなくネットで調べてみたのがきっかけでした。大学院で森林生態学の研究をしていた私は、当時博物館学芸員として働くのが夢でしたが、なかなか仕事が見つけれませんでした。そこで、自然関連のテーマで、西日本地域、特に九州での募集を探してみると、長島町で鳥獣被害対策の協力隊を募集していました。自分で課題を発見し、解決に取り組み、普及活動を行う…という学芸員に似たスキルが求められ、大変そうだがやりがいもありそうな仕事だと思いました。すぐ連絡を取り履歴書を送り、コロナの流行で数ヶ月延期になりながらも無事面接が終わり、晴れて協力隊として着任させていただきました。

Q.森林生態学の知識を活かす場として、鳥獣被害対策の協力隊を選んだのですね。実際に島の自然を見た感想はいかがでしたか？

長島にきて最初に感じたことは、海と山が近く、自然環境が素晴らしいということでした。図鑑でしか見たことのないような樹木や草本、コケ類、シダ植物が、熱帯地方よろしく繁茂し、子どもの頃以来久しく見ていなかった昆虫がそこら中にいます。海は美しく地形が多様で、さらに海流の関係で島の近くまで熱帯性の生き物が生息している場所もあります。後で知ったことですが、雲仙天草国立公園に長島町の一部が指定されています。国立公園と知っても特に驚きませんでした。「やっぱりそうか！」と再確認した感じです。

しかし残念ながら島の人にとって自然とは、まだまだ身近でないように思います。あまりにも当たり前存在しているからかもしれません。長島では一次産業に従事している人も多

く、大人も子どもも自然に関心のある人は、潜在的にもっと沢山いるのではないかと思います。例えば、私は今年の夏休みには児童クラブでイノシシ捕獲についての紹介を行いました。とても熱心に聞いてくれました。今後の活動でもっと自然との橋渡しができたら良いなど考えています。

Q.島の自然の魅力の普及は観光業の振興にも繋がる重要な点ですね。島の暮らしの「良さ」として感じたことは何か他にもありますか？

私は空き家をリフォームして住ませてもらっていますが、そのお家は当時空き家バンクに登録されていないもので、空き家担当の方が大家さんに事情を話してそのまま「住んでよかよ〜」となったのでした。いきなり他人を受け入れてくれる島の懐の広さを感じました。住めば住むほど、長島の人には男女問わずさっぱりとして細かいことを気にしない人が多いなと思いました。かといって人間関係がドライな訳ではなく、みんなでわいわい農作業をしたりする。自然だけでなく人柄についても、すっかり島が好きになっていることに気づきました。

Q.島の人柄・環境は本当に温かいものですね。最後に、これから島での生活でさらに取り組んでいきたいこと等ありましたら是非教えてください。

長島町に住んで半年くらい経った時、私は協力隊の任期を終えたらどうするのだろうと真剣に考えるようになりました。何か自分のための生業が必要だと思いました。私は自分で捕獲したイノシシや他の猟師から頂いたイノシシを捌いて（まだまだ修行中ですが）食べるようになってから、猪肉の美味しさに感動し、みんなにも食べてもらいたいと思っていました。しかし本当にジビエの需要はあるのだろうか？と考えました。そこで同じ集落の方やいろんな方に食べてもらい感想を聞いてまわりました。美味しかったよ、と言ってもらえるととても嬉しく、ジビエ肉販売でも仕事としてやっていけるのかな？と思うようになってきました。

その一方、長島町でも例に漏れず猟師の高齢化が進み、イノシシ捕獲をしていく中で、そのほとんどが埋設されていました。ちゃんと処理したイノシシの肉はとても美味しいのですが、捌くにはかなりの労力がかかります。高齢化で捌く労力が大きいために埋設が選ばれているのだとしたら、命を粗末にしているし、とてももったいないことだと思いました。

このような思いから、美味しく衛生的な解体方法を学びに行ったり、処理施設の運営について聞き取りに行ったり、美味しい料理法を調べたりと、協力隊の任期後に必要にな

る勉強も行っています。大変ですがとてもやりがいがあり、とても充実した毎日になりました。

まだまだこれからどうなるかわかりませんが、現在は協力隊の任期終了を見据えて、処理施設を建てる準備も進めています。まだまだ中途ではありますが、山の幸がもっと身近になるように、楽しみながらも頑張っていきたいと思います。

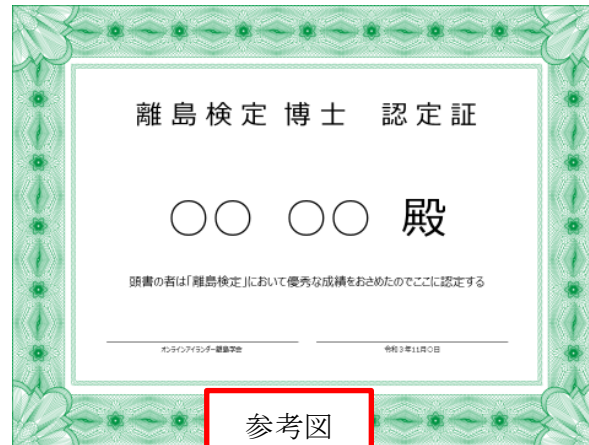


長島町内でのイノシシ狩猟わなの講習会の様子

捕獲・狩猟した鳥獣を廃棄するだけでなく、ジビエとしての資源活用を模索する試みは素晴らしいですね。これからも島の生活をエンジョイしながら、お仕事頑張ってください。楽しく貴重なお話、本日はありがとうございました！

○挑戦！「離島検定」

- ※回答はアイランダーHP内の<[こちらのフォーム](#)>からご回答ください。
- ※問題に関するヒントはアイランダーHP内に散らばっています。よく探してみよう！
- ※成績優秀者には「離島検定博士認定証」を交付！



(問題の一部を掲載！)

7. タコとフグが名産の日間賀島（愛知県）。最近では SNS でよく映えるスポットも人気です。その名前は？

- ①恋人のブランコ、②恋人のトンネル、③恋人のデレンゲ

13. 小豆島（香川県）には、潮の干満で現れたり、消えたりする大切な人と手をつないで渡ると願いが叶うと言われる場所があります。その名前は？

- ①ビーナスライン、②エンジェルロード、③トワイライトビーチ

16. 平島（長崎県）は平成初期頃まで石切場として栄え、島から切り出された石材は、ある施設の石畳にも使われました。その施設は？

- ①グラバー園、②ハウステンボス、③出島

20. 沖縄県最東端に位置する、北大東島（沖縄県）。島で育てた作物を加工した、お菓子は次のうちどれでしょうか？

- ①北大東島ポテトチップス、②北大東島チョコレート、③北大東島ポップコーン